

# Journal

vol. 14

2015 January ◀ March

特集

## 司法教育の 伝統と現在

法学部2号館の模擬法廷教室

Journal

特集  
司法教育の  
伝統と現在

2015 vol.14 January ◀ March

### 日本大学法学部 Event Schedule

1月~3月

就職指導課

教務課

学生課

研究事務課

エクステンションセンター

1

January

※イベントはありません。  
※内定者による就職支援プログラム、就職指導課員による特別講座、オフィスアワー・相談ブースによる個別相談、ゲストスピーカーによるキャリア講座（正規授業の一コマにて）などを随時実施しています。詳細は就職指導課掲示にて確認してください。



就職指導課(相談コーナー)

- 1月8日(木) 冬季休業終了 教
- 1月9日(金) 授業開始 教
- 1月13日(火) 補講期間 教  
~15日(木)
- 1月16日(金) 後学期特別授業期間 教  
~29日(木)
- 1月18日(日) 日本学生支援機構奨学金継続手続き  
入力期限 学
- 1月30日(金) セミナール論文提出締切日 教  
※第一部17:00まで。第二部19:00まで。  
提出期限を過ぎたものは、理由の如何を問わず受理しません。

2

February

- 2月12日(木) 業界別個人模擬面接  
~17日(火)
- 2月12日(木) グループディスカッション講座  
・16日(月)
- 2月13日(金) 面接対策実践編  
・17日(火)
- 2月14日(土) 公務員OB・OG就職相談会
- 2月20日(金) 内定学生による就職相談会
- 2月26日(木) 業界・企業の実状を知ろう②

- 2月14日(土) 定期無料法律相談会 研
- 2月16日(月) 4年次生成績発表・再試験手続き 教  
・17日(火)  
※4年次生のみ、学年末試験の成績表を教務課窓口にて交付  
します。併せて再試験の申込みを受付けます。
- 2月23日(月) 追試験(1~4年次生)・再試験(4年次生) 教  
~25日(水)
- 2月28日(土) 第46回日本大学法学部海外研修旅行  
~3月14日(土) (春期・ヨーロッパ) 学

3

March

- 3月9日(月) 企業研究セミナー  
~13日(金)
- 3月17日(火) 合同企業研究会・就職セミナー  
(全学部合同。東京国際フォーラムにて)



合同企業研究会・就職セミナー(昨年度)

- 3月7日(土) 定期無料法律相談会 研
- 3月中旬 平成26年度国家試験合格者祝賀会 研
- 3月25日(水) 日本大学卒業式・学位記伝達・  
卒業記念祝賀会 教



日本武道館での卒業式(昨年度)

※各項目についての詳細は、各担当部署にお問い合わせください。 教 教務課 学 学生課 研 研究事務課 エ エクステンションセンター

#### Information

3月25日(水) 日本大学卒業式・学位記伝達・卒業記念祝賀会

卒業式(日本武道館)、学位記伝達(三崎町キャンパス)の終了後、法学部の卒業記念祝賀会をホテルグランドパレスにて盛大に行います(事前申込制)。学生生活最後の締めくくりにぜひ御参加ください。



日本大学法学部ジャーナル  
Journal  
2015 vol.14 January ◀ March

2015年1月30日発行 日本大学法学部広報 通巻122号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/>

詳細情報は、随時掲示板およびホームページを見て確認してください。

特集

# 司法教育の伝統と現在

明治政府の初代司法大臣・山田顕義が創立した日本法律学校をルーツに、125年の歴史を重ねてきた日本大学法学部は、創立以来、法曹界に多くの人材を輩出してきました。

日大出身の法曹が集う日本大学法曹会による法学部学生へのサポートは、「司法の日大」の伝統として脈々と受け継がれています。今号では、日本大学法曹会と法曹を志す学生のための司法科研究室との連携を中心に、法学部が誇る司法教育の伝統と現在を紹介します。



法の女神ユスティティア  
(法学部2号館)



法科大学院入試、予備試験、その後の司法試験に向けた模擬試験



法曹を目指す司法科研究室生たち



司法科研究室内の成績上位者には固定席を貸与



第37回を迎えた伝統の「法律討論会」



若手OB弁護士による特別講義



日大出身の弁護士、裁判官、検察官による日本大学法曹会が後輩たちをバックアップ



司法科研究室内の成績優秀者表彰式

# Journal

[日本大学法学部ジャーナル]

2015 vol.14

## Contents

### 2 [特集] 司法教育の伝統と現在

#### 4 日本大学法曹会との連携と教育指導

日本大学法曹会 会長  
鈴木三郎 弁護士

日本大学法曹会 事務局長  
入澤武久 弁護士

#### 6 司法科研究室内の取り組み

司法科研究室とは  
司法科研究室内の講座案内  
現役研究室生たちの声

#### 9 第37回法律討論会

column②  
若手OB弁護士による特別講義レポート

#### 10 就活up!

第2回  
いよいよ3月1日就活解禁!

#### 11 留学Life

Vol.2  
法学部オリジナルの短期語学研修の魅力

#### 12 日本大学法学部

Event Schedule (1月~3月)

## 日本大学出身の法曹(裁判官、検察官、弁護士)が学生をサポート!

日本大学法曹会とは、日本大学および日本大学法科大学院出身の法曹関係者による校友会組織です。様々な角度から法学部生に対するサポートを行っており、現役の法曹から司法試験の勉強法や実務の現状を直接学ぶことができます。この法曹会と法学部との連携とサポート体制について、事務局長の入澤武久氏に伺うとともに、会長の鈴木三郎氏より法学部生へメッセージをいただきました。

### 日大OBの現役の法曹が実践的な受験指導をします

日本大学法曹会には、裁判官、検察官、弁護士など、約600名の会員がいます。それぞれが母校のためにいろいろな形でお手伝いをさせていただいていますが、法学部生との連携という部分では、司法科研究室(P6参照)とのつながりが厚いですね。

司法科研究室では、法曹会の弁護士がゼミナールを担当しています。学生たちが親近感を持てるような若手の弁護士が多く参加して、より実践的な司法試験対策を指導しています。司法科研究室で勉強することが、司法試験合格への近道です。

4月に行われる司法科研究室の新生ガイダンスにも、法曹会の弁護士が10数名参加します。全体説明のあと、数人ずつの学生と分かれて、弁護士の仕事や勉強方法についてお話をさせていただきます。

また、司法科研究室の成績優秀者表彰式では、年間を通じての成績優秀者に対して表彰と副賞の図書券などを授与しています。これは、学習の一助になればということ、学生のモチベーションを上げています。

シヨンの高まればという思いを込めて行っています。

ほかに、法曹会主催で「法廷見学」を行います。学生を引率して実際の刑事裁判を何件か傍聴し、その後、先ほど見た生の刑事裁判手続きの解説を行います。

毎年秋に開催する「法律討論会」(P9参照)では、法学部校友会とのコラボレーションで上位3チームと優秀質問者に図書券を贈るとともに、法曹会の会員が問題を作成し、エントリーチームの事前審査や当日の審査員なども担当しています。

また、年に7〜8回行っている一般向けの「定期無料法律相談会」では、法曹会の弁護士が相談員を担当し、法学部の学生を記録員として同席させていただきます。生の法律相談を体験してもらっています。

### 法曹会の手厚いサポートで「自己実現」しよう!

校友会としての日大法曹会ですから、やはり大学に貢献していかなくてはなりませんし、法曹を志した学生を一人でも多く司法試験に受からせたいと思っています。

## 大学の環境は整っている どん欲に勉強するのみ!!

法学教育の基本はもちろん大学の講義です。しかし、司法試験に合格するためには、講義のほかに、研究室と司法試験合格者の先輩たちのサポートが絶対に必要です。そのサポートの部分を担っているのが日本大学法曹会です。

法曹会の会員が研究室で講義し、司法試験合格者ならではの視点で、質問に答えたり、勉強法をアドバイスしてくれる。それは現役の学生にとつて、とても有益なことです。合格者祝賀会などでも「日大のサポート力に救われた」と皆さん言ってくれます。そして合格後は今度は自分が先輩をサポートするという良き循環が伝統としてずっと続いているのが日大法学部なのです。

日本大学は講義と研究室と先輩の3点セットがしっかりと整っているのですから、あとは本人の努力と持続性です。法律というのは、大学に入ってから同じスタートラインで学ぶものですが、大学で努力し続けさえすれば、他大学の人に引けを取ることには決してありません。そのことをしっかりと理解してほしいのです。大学は自分を変身させる場所です。よし、やろうという思いでやっているか、常に自分に問うことが、変身の原動力になるはずですよ。

学生の皆さんには、とにかくどん欲に勉強してほしいです。そして、早く司法試験に合格して、法曹界で活躍されることを期待しています。



日本大学法曹会 会長  
**鈴木三郎** 弁護士

1967年、日本大学法学部法律学科卒業。東京弁護士会副会長、日本弁護士連合会常務理事、関東弁護士会連合会副理事長を歴任。東京都弁護士国民健康保険組合理事。東京地方裁判所鑑定委員。

## 法学部における日大法曹会の主な行事と指導

### 司法科研究室新生ガイダンス

新生を対象にした司法科研究室の説明会。日大法曹会から多くの弁護士が参加。実務の第一線で活躍する先輩と触れ合う貴重な機会となります。

### 司法科研究室成績優秀者表彰式

司法科研究室の法曹養成答案練習会の成績優秀者に対して表彰を行います。成績優秀者には賞状と副賞として図書カード等が授与されます。

### 定期無料法律相談会

一般向けの法律無料相談会。地域社会への社会貢献と法曹を目指す学生のための実践教育という二面性を有し、相談員他に、記録員として法学部学生が同席します。

### 法廷見学

法曹会の弁護士の方々が学生を引率して、東京地方裁判所で実際の刑事裁判を傍聴。そのあと若手弁護士が刑事裁判手続の解説講義を行います。

### 法律討論会

今年で38回目を迎える伝統のイベント。3人1組の10チームが参加し、白熱した討論を展開。上位チームと優秀質問者に図書カード等が授与されます。討論会終了後、学生と法曹会の交流の場も設けています。

### 司法科研究室／グループ指導ゼミ

法曹会の実務家の先生方が、少人数を対象に実施する受験指導。論文の書き方など、より具体的な双方向の指導をしてくれます。



←司法科研究室新生ガイダンス/3号館350講堂で開催される説明会には、毎年多くの学生が参加する。



→法廷見学/実際の裁判を傍聴後、日大法科大学院の模擬法廷で行われた解説講義の様相。当日は1年生を中心に多数の学生が参加。活発な質疑応答がなされた。



←司法科研究室成績優秀者表彰式/答案練習会の論文集、短答式それぞれの成績優秀者を表彰。法曹会会長より賞状と副賞が手渡される。(写真は平成25年度)

思っています。そのために、これからも様々な取り組みをしていきます。まずは、もつと学生との接触の機会を増やして、弁護士の仕事の魅力をきちんと伝えていきたいと思っています。弁護士って法廷活動だけでなく、これからは法人関係でコンプライアンスなどの問題に対応できる弁護士のニーズがさらに高まっていくと思います。企業の役員になっていく弁護士も多いですし、会社法の改正もあり、まだまだ新たな活路を見出せる仕事なんですよ。

日本大学法学部というのは、「司法の日大」といわれるように、法曹界にかなりの数のOBOGがいるんです。日弁連の会長になった方もいらっしゃるし、私が所属する東京弁護士会でも、要職を日大のOBOGの弁護士が歴任しています。もちろん弁護士だけでなく、判事や検事もたくさんいます。そういう先輩たちが、実務修習や就職の際に声掛けしてくれたりします。法曹会を通して、様々なつながりが生まれていくんですね。

日大法学部の学生に対する面倒見の良さ、司法科研究室の組織の素晴らしさ、法曹会のみとまりの良さを、学生たちにぜひ知っていただきたいです。司法試験合格に向けて、また合格後のフォローも含めて、法曹会がしっかりとサポートしていきますので、現役の学生の皆さん、ぜひ「自己実現」を果たしてください!

◆司法科研究室的講座案内 教員、弁護士、司法試験合格者が指導する充実のプログラム

<p><b>法曹養成講座</b> インプット対策</p> <p><b>法曹養成入門講座</b> 法科大学院・司法試験予備試験・司法試験といった法曹養成制度の概要および試験科目の勉強法、司法科研究室的利用方法について、弁護士や司法試験合格者が説明を行います。</p> <p><b>法曹養成基礎講座</b> 本学教員・弁護士・司法試験合格者による初学者向けの入門講座です。実施科目は、憲法・民法・刑法(1年生対象)、行政法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・民法演習・刑法演習(2年生以上対象)。</p> <p><b>特別講義</b> 法科大学院入試、司法試験の論文式試験対策を目的として実施する特別な講義。本学教員だけでなく、他大学の司法試験に精通している教授(元司法試験委員等)による講義で、受験対策上必ず押さえておくべき論点、その年に出题される可能性の高い論点などを重点的に講義します。</p>	<p><b>答案練習会(模擬試験)</b> アウトプット対策</p> <p><b>火曜答案練習会(短答式)</b> 法科大学院入試・予備試験・司法試験の短答式試験で高得点を取るための答案練習会。終了後、弁護士・司法試験合格者が解説を行う場合があります。</p> <p><b>基礎答案練習会(論文式)</b> 初級者・中級者向けの論文式模擬試験。おもに2年生以上が対象。出題は、弁護士および司法試験合格者。試験終了後に解説レジュメを配付します。答案は添削して後日返却します。</p> <p><b>土曜答案練習会(論文式)</b> 法科大学院入試・予備試験・司法試験の論文式試験で高得点を取るために実施する答案練習会。出題は大学教授や法律実務家。試験後、解説レジュメを配付し、解説、質疑応答を行います。答案は弁護士・司法試験合格者が添削して返却します。</p> <p><b>論文直前答案練習会</b> 司法試験予備試験の論文式試験と同様の日程・時間割で実施する答案練習会。司法試験合格者や弁護士が、本番を予想して出題し、後日答案を添削して返却。試験終了後に、出題者が作成した解説レジュメも配付します。</p>	<p><b>少人数受験指導</b> グループ指導ゼミ</p> <p>法科大学院入試・予備試験・司法試験の合格を目的として少人数を対象に実施する受験指導。論文の書き方、短答式問題の解き方などを、弁護士および司法試験合格者が指導します。</p> <p><b>口述試験指導</b> 司法試験予備試験の論文式試験合格者に対して、元司法試験審査委員および同等レベルの教授により行われる口述模擬試験です。</p>	<p><b>その他の各種企画・学習支援</b></p> <p><b>法科大学院進学対策・適性試験対策講座</b> 法科大学院進学の際に必須とされる「法科大学院全国統一適性試験」の対策として実施する総合講座です。おもに推論・分析力・読解・表現力対策を行います。</p> <p><b>夏季合宿(1・2年生対象)</b> 1・2年生を対象として行う勉強合宿。自然豊かな勉強に集中できる環境で実施します(昨年は長野県の軽沢研修所にて実施)。</p> <p><b>法廷見学</b> 日本大学法曹会主催の法廷見学です。実際の裁判を傍聴した後、弁護士が裁判手続きに関する説明を行います。</p> <p><b>成績優秀者表彰式</b> 日本大学法曹会の協力のもと、答案練習会の成績優秀者を表彰します。副賞として図書券等が授与されます。</p>
--	--	--	---

法曹養成全般を視野に入れた受験指導と日大OBのバックアップ



司法試験予備試験の総合択一模擬試験

**司法試験合格のために 具体的な受験対策を指導**

法曹(裁判官・検察官・弁護士)になるには、法科大学院を修了するか、司法試験予備試験に合格したうえで、司法試験に合格しなくてはなりません(P8参照)。司法科研究室は法曹を目指す学生のために設置された機関です。司法試験に合格するまでに必要な様々な受験対策指導を実施しています。内容としては4つの区分があります。「法曹養成講座」は、法律試験科目を



成績上位者に貸与される固定席

講義形式で学ぶ講座です。新入生向けの「入門講座」、法律科目の基礎を学ぶ「基礎講座」、応用的な内容を取り扱う「特別講義」などがあります。「答案練習会」は、法律知識を実践に近い形でアウトプットする模擬試験です。司法試験にはマークシート方式の短答式試験と論文式試験の2つがあり、それに対応する模擬試験を行います。毎週火曜日の「火曜答案練習会」は短答式の模擬試験です。「基礎答案練習会」「土曜答案練習会」は論文式模擬試験で、教員や弁護士が出題し、弁護士・司法試験合格者が答案を添削します。「論文直前答案練習会」は司法試験予備試験直前に本番同様に行うものです。「少人数受験指導」の「グループ指導ゼミ」は、弁護士の先生方が少人数を対象に行うゼミです。学生に答案を書いてもらい、それをみんなで見ながら、

司法科研究室は、法曹(裁判官・検察官・弁護士)を志す学生のために設置された学生研究室です。受験指導に精通した教授・弁護士・司法試験合格者によって丁寧な指導がなされ、これまで多くの法曹を輩出。現在も法科大学院進学や司法試験予備試験、司法試験合格対策の様々な講座や指導を実施しています。その活動内容について司法科研究室の担当職員にお話を伺いました。

VOICE 現役研究室生たちの声 ①入室のきっかけ ②入室して良かったこと ③将来の夢



法律学科3年 千田敦史さん

- 入室の申込みのガイダンスを聞いて、興味をもったことがきっかけです。
- 優しい先生や先輩方を勉強面、私生活面で頼れること。
- 裁判官または弁護士。



法律学科3年 鈴木花奈美さん

- 1年生のオリエンテーションのときに研究室の説明を聞いて。
- 学部のゼミナールとは別に司法科のゼミで弁護士の先生に直接教えていただけたこと。同じ目標を持つ友人ができたこと。
- 弁護士。



法律学科3年 柴山卓巳さん

- 司法試験合格を目指すため。
- 同じ夢を目指す友達ができ、多くの先生方と話す機会ができたこと。
- 人に寄り添う弁護士。



法律学科3年 西山英里さん

- 大学に入学する前から法曹の仕事に興味があったため。
- 基礎答案や研究室合宿など、法律知識を高める機会が多いので、目的を持って勉強を続けられる。
- 検察官として、様々な人の役に立ちたい。



司法科研究室生も参加した「法律討論会」

**日大法曹会の協力のもと 法曹と身近に触れ合える**

先生が具体的なアドバイスをしてくれる双方向の指導が魅力です。「その他」として、「法科大学院進学対策講座」や夏季合宿、法廷見学、成績優秀者の表彰なども行っています。

司法科研究室に入るには、秋の入室試験に合格し登録する必要がありますが、4月に仮の入室を認める制度があります(下記入室要領参照)。研究室には現在約270名が在籍しています。研究室生になると各種講座にすべて参加できるほか、入室試験の成績上位者は自習室にある専用の固定席を1年間使うことができます。固定席を貸与された学生は、研究室にある参考書などを自由に閲覧することもできます。

**司法科研究室の入室要領**  
(※平成27年1月現在。今後変更する可能性があります)

- 1 新入生ガイダンス**  
毎年4月に行う司法科研究室の説明会。当日は日大法曹会から多くの先生方が参加。実務の一端で活躍する先輩が法曹の仕事について教えてくれる。
- 2 仮登録**  
おもに新入生を対象に、4月中旬から5月上旬にかけて仮の入室手続き(仮登録)の受付を行う。
- 3 入室試験・本登録**  
9~10月に入室試験を実施。試験は憲法、民法、刑法の3科目の論述試験。合格者は10月に正式な入室手続き(本登録)を行う。登録料は本学部在学は年間3千円。成績上位者には、研究室の自習室内に固定席が貸与される。

司法科研究室で学ぶもうひとつの利点は、弁護士や裁判官や検察官など、現役の実務家の方々と直接触れ合えることです。その点で、日本大学法曹会に多大な協力をいただいています。グループ指導ゼミの担当指導員も法曹会の弁護士が中心で、親身な指導を通じて、法曹と身近に触れ合える環境を作ってくださいたいです。ほかに法廷見学、成績優秀者表彰式、法律討論会など、日大の後輩が一人でも多く司法試験に受かるようにと様々な企画に尽力していただいています。まさに「司法の日大」の伝統に支えられているのが、司法科研究室的の強みなのです。

column 2

若手OB弁護士4氏  
後輩へ熱きメッセージを語る

2014年11月24日(月)、法律学科法職課程1年生全員を対象とした「自主創造の基礎Ⅱ」で若手OB弁護士4氏を招いた合同講義が開催されました。本企画は日本大学法曹会の協力のもとに実現しました。将来法曹界を志す法職課程の現役学生にとって、もっとも身近な目標となる若手OB弁護士の各氏による生の声は、夢を現実に近づける大いなるきっかけとなりました。

4氏には、弁護士を目指したきっかけ、日本大学法学部ならびにロースクール(法科大学院)における学習、そして現在の弁護士業におけるやりがいと苦労などについて語っていただきました。登壇者の一人である平裕介氏(法科大学院2006年卒)は、「本学の司法科研究室における学習支援の充実ぶりは他大学を圧倒している」と発言し、本学の学習資源のより積極的な



活用についてアドバイス。井口直樹氏(2003年卒)は「1年360日、大学で勉強に明け暮れた」と話し、「互いが教えあい、切磋琢磨できる環境が司法科研究室にはある」と後輩たちにメッセージを贈りました。中学から法科大学院まで日大一筋で歩んでこられた能登豊和氏(1996年卒)からは「司法科研究室で1日15時間勉強したこともある」というエピソードを披露いただき、また法学部出身でその後本学ロースクールにおいて本格的に勉強を始めたという秋山光氏(2006年卒)からは、「本学のロースクールでは多くの著名な実務家教員のもとで鍛えられる環境がある」との発言もありました。

各氏ともに弁護士業に夢と希望、そしてやりがいをもって取り組んでいる現在の日々について、後輩諸君に力強く語り、参加した法職課程1年生は将来の自身の姿に想いをはせて食い入るように聴講していました。



選ばれた10組と傍聴人が白熱した討論を展開

第37回を迎えた日大法学部伝統イベント「法律討論会」が、去る10月18日に1011講堂で開催されました。実際にあった事件をベースにした問題が7月中旬に提示され、エントリーしたチームから事前審査で選出された10組が素晴らしい発表を行いました。また、傍聴人より鋭い質問が多々あり、白熱した討論が行われました。

各組の論旨内容や発表態度、質疑応答の内容・態度を審査員が総合的に審査し、優勝、準優勝、第3位を決定。賞状・トロフィー・楯、図書カードがそれぞれ授与されました。

問題の出題のほか、事前審査、当日の審査員などは、日本大学法曹会の裁判官、検察官、弁護士の先生方が担当。討論会終了後に行われる出場チームとの懇親会にも法曹会の先生方が多数参加され、学生にとっては直接話を聞くことができる絶好の機会となりました。

# 司法の日大の伝統を受け継ぐ 第37回法律討論会

↓傍聴は自由。当日は傍聴人より鋭い質問があり、優秀質問賞として10名に校友会より図書カードが贈呈された。



↑3人1組で参加。1名が論旨を発表(制限時間10分)、発表者以外の2名が質疑に回答する(制限時間5分)。

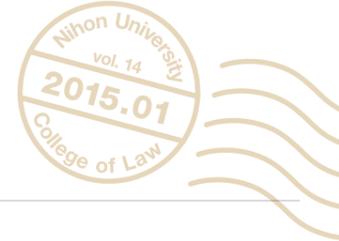
↓優勝トロフィーには、第1回からの歴代優勝者が書かれたリボンが。現在、法曹界の第一線で活躍している方ばかり。



主催：日本大学法学会、日本大学法曹会  
後援：日本大学法学部校友会、日本大学法学部法学研究所

# 留学 Life

go abroad to study



## Vol.2 法学部オリジナルの短期語学研修の魅力

### 語学研修と連動した課外講座でスキルアップ!

日本大学法学部では、春休みや夏休みを利用した短期語学研修に力を入れています。また、語学研修と連動した課外講座も充実しています。たとえば夏期のベルリン自由大学語学研修では、選抜試験前に「ドイツ語集中課外講座」、出発前に「留学・海外研修のためのドイツ語講座」、さらに帰国後は秋のドイツ語検定に向けた「ドイツ語検定試験対策講座」と、スキルアップできる体制が整っています。また法学部の語学研修は海外留学を希望する学生対象に、各大学の留学生向けの語学コースに参加するもので、多国籍の学生と勉強できるのも特徴です。詳細は法学部のホームページをご覧ください。



ソノマ州立大学の研修生たち

### ■サマースクール・語学研修

法学部が力を入れている短期語学研修から、ゴールデンウィーク前に参加募集が始まる夏期語学研修を紹介します。

#### ソノマ州立大学語学研修

米国カリフォルニア州ソノマ郡の州立大学の語学コースに参加。世界中から英語を学びにきた留学生とともに勉強します。授業は英会話、文法、語学実習など。週末にはフィールド・トリップとして裁判所見学やアメリカ文化に触れる観光なども。宿泊はホームステイ。



ソノマ州立大学



#### ベルリン自由大学語学研修

ドイツの首都ベルリンにある総合大学の語学コース。イタリア、スペインなど各国から集まった15人ほどのクラスで学びます。授業は午前中がドイツ語の授業でドイツの歴史や文化、文法など。午後は各自が好きな文化プログラムに参加します。宿泊先は学生ホテル。



### ■語学分野課外講座

講座名	内容	開講期間
ドイツ語集中課外講座	ベルリン自由大学語学研修の選抜試験に向けた講座。	3月中旬～下旬
留学・海外研修のための英語講座	ネイティブスピーカー講師による英会話能力の向上。	前期5月中旬～7月中旬 後期9月下旬～12月中旬
留学・海外研修のためのドイツ語講座	ネイティブスピーカー講師によるドイツ語会話能力の向上。	5月中旬～7月中旬
留学・海外研修のためのフランス語講座	ネイティブスピーカー講師によるフランス語会話能力の向上。	11月上旬～12月上旬
留学・海外研修のための中国語講座	ネイティブスピーカー講師による中国語会話能力の向上。	11月下旬～12月中旬
英検集中課外講座	試験直前の集中学習や面接トレーニングを行う講座。	前期6月上旬、7月上旬 後期10月中旬、11月上旬
TOEIC集中課外講座	TOEIC-IPテスト直前の短期集中講座。就職にも活かせる。	前期6月上旬 後期11月上旬
TOEFL課外講座	TOEFLのスコアが要求される大学への留学のための講座。	前期5月中旬～7月中旬 後期9月下旬～12月中旬
ドイツ語検定試験対策講座	秋期ドイツ語検定試験に照準を合わせた講座。	9月下旬～12月上旬

### ■国内研修プログラム

ソノマ州立大学教員による短期集中英語研修	同大学教員が来日し、研修所等で実施する合宿形式の研修。	3月中旬(10日間)
----------------------	-----------------------------	------------

	研修名	研修期間	対象	募集説明会	募集期間
アメリカ	ソノマ州立大学語学研修	夏期1ヶ月	法学部	4月中旬	4月中旬～5月上旬
ドイツ	ベルリン自由大学語学研修	夏期3週間	法学部	4月中旬～5月上旬	4月中旬～5月上旬
イギリス	ケンブリッジ大学ヘンブルック・カレッジ サマースクール	夏期1ヶ月	全学部	11月中旬	11月中旬～12月上旬
アメリカ	エリザベスタウン・カレッジ サマースクール	夏期1ヶ月	全学部	11月中旬	11月中旬～12月上旬
フランス	アヴィニオン大学語学研修	春期3週間	法学部	10月中旬	10月上旬～下旬
台湾	中国科技大学	春期1ヶ月	法学部	11月中旬	10月下旬～11月下旬
韓国	新羅大学校語学研修	春期1ヶ月	法学部	11月上旬～下旬	10月下旬～11月下旬
オーストラリア	ボンド大学付属英語研修機関	春期1ヶ月	全学部	7月中旬	9月下旬

●各プログラムの詳細、留学・語学研修についてのご相談は法学部教務課までお問い合わせください。

## 2月、3月のおもな就職支援プログラム

### ■公務員OB・OG就職相談会

2月14日(土) 13:00～16:00  
1031講堂、1032講堂

官公庁で働く法学部卒業生が来校。公務員受験の不安など、様々な質問に答えてくれます。

**参加企業**  
財務省、総務省、さいたま地方裁判所、皇宮警察本部、国立大学法人、東京都庁、特別区(葛飾区、北区、千代田区)、千葉県庁、狛江市役所、横浜市役所、松戸市役所 ※参加官公庁は追加変更の可能性あり。

### ■業界・企業の実状を知ろう

2月26日(木) 13:30～16:30  
1031講堂、1032講堂

ブース形式の個別セミナー。当日は13企業が来校。各業界や業務などの実状についてお話しします。

**参加企業**  
1031講堂/(株)エトワール海遊、ケイヒン(株)、芝本産業(株)、(株)杉孝、セイノースーパーエクスプレス(株)、東京急行電鉄(株)  
1032講堂/(株)東京めいらく、(株)ドウシヤ、(株)ノジマ、(株)文芸社、(株)ペイロール、(株)マイテック、三菱UFJ不動産販売(株)

### ■企業研究セミナー

3月9日(月)・10日(火) 350講堂  
3月11日(水)～13日(金) 1011講堂

各日1～4の企業・団体の採用担当者が来校し、採用情報や業務内容について説明します。(各回約1時間20分。各開始時間は要確認。遅刻・途中退席不可)

**参加企業**  
3月9日(月) 東京信用保証協会、三井住友海上火災保険(株)  
3月10日(火) 富士ゼロックス首都圏(株)、日本生命保険(相)、(株)三菱東京UFJ銀行  
3月11日(水) 山崎製パン(株)  
3月12日(木) 大正製薬(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)USEN  
三菱UFJ信託銀行(株)  
3月13日(金) 東京海上日動火災保険(株)、鹿島建設(株)、(株)ロッテ、(株)不二家

### ■合同企業研究会・就職セミナー

3月17日(火) 10:00～17:00  
有楽町・東京国際フォーラム

全学部生を対象とした日本大学最大の就職イベント。昨年は240を超える企業・団体・官公庁と学生延べ約1万人が参加。学生と人事担当者が直接対話できるブース形式で実施されます。

\*日程等には追加・変更の場合あり。詳細は就職指導課掲示にて確認してください。就職指導課は法学部10号館2階にあります。

第2回  
いよいよ3月1日  
就活解禁!

今年の就活の最新情報を発信!

# 就活up!

3月からの就職活動解禁に備えて  
業界・企業研究をやりよう

平成28年3月卒業生を対象とした採用活動は3月1日から開始されますが、各企業の採用予定数については、おおよそ増加傾向にあると思われまふ。しかし、ここで重要なことは、たとえ採用数が増えたとしても、採用基準を下げざるわけではありません。言いかえれば、一定の採用基準を満たさない学生は採用されないのです。だからこそ、企業がどのような人材を求めているのかをしっかり把握しておくこと(＝業界・企業研究)、また名前を知っている企業のみならず、知らない企業を含め、できるだけ多くの企業について研究しておくことが重要

なのです。就職指導課では、12月に約50社の企業を招へいして業界セミナーを実施しましたが、2月26日には名前はあまり知られていないが優良な企業を招へいたしたセミナーを、また3月上旬には大手企業を招へいたしたセミナーを、さらに3月17日には日本大学全学部合同のもっと就職セミナー(於・東京国際フォーラム)を実施いたします。これらのセミナーに来ていただく企業は、日本の学生を積極的に採用してくれる企業の一助としてください。(就職指導課)

## 4年生からの

### 自分を信じ、頼れる人には頼って 頑張り続けることが大切です

就職活動を始める少し前に、父の勧めで国債を買いました。初めて「投資」を経験して、お金の巡りについて考えるようになり、その巡りを良くすることは世の中にとって良い事だと思いました。私は大学は新聞学科、サークルは放送研究会で「人に伝えること」を勉強したので、そのことを直接世の中に発信できる職業は何かと考えた時、証券業しかないと思いました。

就職活動は上手いかわからないことも多くあります。でもそこで諦めず、自分を信じて頑張り続けることが大切です。家族や友人、先生や先輩、頼れる人に頼って楽しむくらいの勢いで就職活動に臨んでください。応援しています!



新聞学科4年  
北代陽香さん

内定先  
野村證券株式会社  
(総合職B社員)

## 就活メッセージ

### 就職活動は「量」をこなして 「質」から「自信」につなげる

ゼミで水ビジネスに関する研究をしたのがきっかけで、社会インフラに携わりたいと考えました。なかでも生活に欠かせない移動手段を担う鉄道業界に魅力を感じ、内定先企業を志望しました。将来的には運転士として働くことが一番の目標です。

就職活動は「とにかく量をこなすこと」を意識しました。量をこなすことで「質」に転換し、徐々に「自信」につながります。面接ではこの自信が活き、冷静に自分を客観視しながら臨むことができました。その日のコンディションや面接官との相性もあるので、1回の結果に一喜一憂せず、目の前の選考に全力でぶつかってください。



法律学科4年  
高杉 将さん

内定先  
都内鉄道会社